

ニッポン学びの海 プラットフォーム会合（第5回）

水産庁

(国研)水産研究・教育機構ウェブサイト (キッズページ)

うみ すいさんぎょう たの まな
海とさかなや水産業のことをいっしょに楽しく学びましょう！



出前事業

小学校、中学校、高校まで出向いて授業4～5回程度/年



広報活動の推進

- Facebook、X(旧Twitter)、Instagram等のSNSを活用し、積極的に公表
- YouTubeにも掲載し、広く国民に周知



- 水産業にあまり興味のない方でも、わかりやすく見られる

YouTubeチャンネル

ふらっとらぽ

を新たに立ち上げ配信



成果について、Webサイトなど多様なメディアを活用してわかりやすく国民に広く周知

こどもむけ定期刊行物

小学生対象で4回/年刊行。図書館や小学校に配布。



漁業・水産高校の魅力を発信する取組



漁師.jp 公式Youtubeチャンネル



動画 ▼



ドック中の第二十一昭徳丸船団に潜入！…
2 days ago | 1.8K views



この中に漁師になる人がきつという！ #…
6 days ago | 1.4K views



私がモズク漁師になった理由【夢をカタ…
5 weeks ago | 1K views



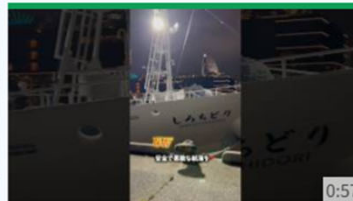
憧れだけでは終わらせない～漁業就業支…
6 weeks ago | 1.7K views



憧れだけでは終わらせない～漁業就業支…
6 weeks ago | 407 views



私がカツオ一本釣り漁師になった理由②…
7 weeks ago | 3.7K views



しろちどり訪船 次世代の船乗りたち#…
7 weeks ago | 2.6K views



若くても稼げる！カツオ一本釣り漁【夢…
7 weeks ago | 204.1K views

- SNSや動画を通じて、漁業者や漁業者を志す若者の姿を発信

こども霞が関見学デーの開催

「こども霞が関見学デー」は、文部科学省をはじめとし府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子の触れ合いを深め、子供たちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的とした取組です。

【令和7年度の開催事例（水産庁）】

- さかなクンのお魚講座 「お魚大使」さかなクンと一緒にさかなについて学びます。
 - 水産加工品を知ろう！ 加工品の展示をみてクイズに挑戦、かつお節削り体験、かまぼこ体操を踊ります。
 - クジラについて学ぼう！ クジラの標本、パネル展示、クジラの伝統と食文化を学びます。
 - さかなクイズ 皮膚の模様や加工品からさかなあてに挑戦します。
 - 毎月3日から7日は「さかなの日、さかな博士になろう！ さかなクイズに挑戦します。
 - 真珠をつかって世界にひとつだけのドアプレートをつくろう！ 真珠を学びドアプレートを作ります。
 - オンラインでリアル漁業・水産高校体験 映像やVR動画で定置網体験や水産高校を体験できます。
 - 魚つりのはなし 溪流魚の守り方について考える体験型プログラムです。
 - 錦鯉とメダカの展示 綺麗な錦鯉とメダカを観察し、ポストカードを作ります。
 - 人工種苗ウナギの展示 ウナギの赤ちゃんの展示をします。
 - 海業を知ろう！ 海業キャラクターのパネルと写真撮影、海の中を覗いて海業を勉強します。
 - われら漁業取締官！ 豊かな海を守ろう！ 漁業監督官に変身したり、オリジナルバッジを作ります。
- (WEB講座)
- さかなクイズ さかなのお医者さんになって、さかなのからだを観察します。



【令和8年度も開催予定（水産庁）】

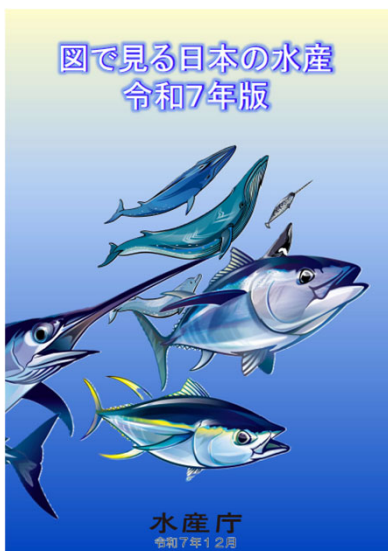
7月29日（水）、30日（木）開催予定！ 本年も乞うご期待ください。

白書等を用いた海洋教育に関する取組



【主な記載内容（水産関係）】

- 日本の海ではどんな魚がとれるのかな
- 魚はどうやってとっているのかな
- いつまでもおいしい魚介類を食べられるようにするためにどんなことが必要かな
- おいしい魚を食べたり、海で魚とふれあうことはできるの



【主な記載内容】

- 日本の漁業・養殖業の現状
- 日本の主な漁法・魚種
- 水産資源の管理
- 漁場環境の保全
- 水産物の流通・加工・貿易
- 水産物の消費
- 活力ある漁村づくり

- 農林水産省においては、若年層を対象とした「ジュニア農林水産白書」を作成。
- 水産庁においては、「水産白書」のほか、水産業をめぐる現状・課題等をビジュアル的にまとめた「図で見る日本の水産」を作成。
- 「ジュニア農林水産白書」等を農林水産省が実施するイベント等で配布。
- 「水産白書」・「図で見る日本の水産」等を水産高校や希望する学校に配布するほか、水産庁が実施するイベント等で配布。

水産物の持続可能な消費拡大「さかなの日」の取組

- 水産物の持続可能な消費拡大に向けた官民協働の取組を推進するため、水産庁は、毎月3～7日を「さかなの日」と制定。コンセプトは、「さかな×サステナ」。
- 「さかなの日」公式ウェブサイト等においてさかなへの関心を高める情報を発信するほか、大阪・関西万博等のイベントにおいて親子向けのワークショップを開催。



ーあなたの日々の消費によって、おいしい魚を次の世代へー

適切に管理された水産資源、
環境・漁獲の変化に合わせて
水産物を選択して消費



水産資源の持続的利用

ロゴマークは17色のSDGsカラー



おさかなコンテンツのご紹介



子供に大人気の
さかなクンを
「さかなの日」
アンバサダーに
任命

©2023 ANAN and Tm.



万博での貝を使ったワークショップ

「さかなの日」公式ウェブサイト（子供向けコンテンツ）：<https://sakananohi.jp/contents/child.html>

「さかなの日」賛同メンバーと連携した取組

- 「さかなの日」の趣旨に賛同するメンバー数は1,131（令和8年5月末）。漁業者、流通・加工業者、小売業者のほか、水族館、高校生・大学生など多様な主体が参画。
- 水族館は、海の生き物の多様性や魅力を伝え、海洋環境や水産資源の理解促進、食への関心を育む社会教育の拠点。「さかなが好き、食べたい」という行動変容が期待。日本水族館協会（JAA）傘下の水族館と連携した展示やワークショップを実施。
- 令和8年度には、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」を活用し、青森県営浅虫水族館、漫画サザエさんの長谷川町子美術館及びJAAと連携した企画展を予定。



水族館と連携した企画展示



しながわ水族館



幼魚水族館



学生と連携したワークショップの実施



持続可能な水産物消費拡大推進事業

令和8年度予算額 582百万円（前年度 582百万円）の内数

<対策のポイント>

水産物需要を喚起し、持続可能な水産物の消費拡大を図るため、**魚食普及活動**や**消費者等に向けた情報発信**を支援します。

<事業目標>

魚介類（食用）の年間消費量（39.8kg/人〔令和14年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 学校給食等における魚食普及活動の推進

幼少期からの魚食経験を通じた魚食普及を推進するため、国産水産物の学校給食への利用を促進するための学校給食関係者を対象とした講習会の開催、学校等における魚食に係る指導に必要な教材の作成、学校給食や課外授業を活用したぎょうよく教育の実施に対して支援します。

2. 官民協働による水産物の消費拡大の取組の推進

1,000を超える「さかなの日」賛同メンバー等と官民協働で、**水産物の消費拡大の取組を推進**するため、水産物消費に係るマイナス特性の解消を目的とした簡単調理・掃除に関する情報発信のほか、低・未利用資源の活用を含め、サステナ消費を喚起するための情報発信等を支援します。

1. 魚食普及活動の推進

魚食に親しむ機会の提供



- ・給食関係者に対する講習会の開催
- ・栄養教諭等が活用する魚食指導教材作成
- ・学校給食や課外授業を活用した地場・国産水産物を活用したぎょうよく教育

2. 官民協働による水産物の消費拡大の取組の推進

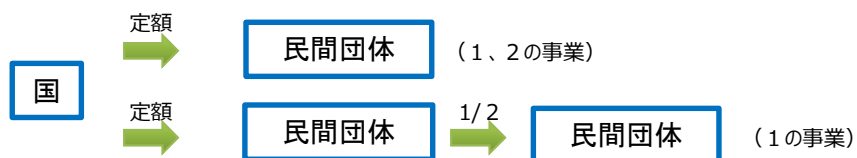
「さかな×サステナ」をコンセプトとする「さかなの日」等の官民協働による水産物消費拡大の取組の定着



- ・「さかなの日」賛同メンバーの取組の情報発信
- ・水産物消費に係るマイナス特性を解消する情報発信
- ・低・未利用資源の活用を含め、サステナ消費を喚起する情報の発信

持続可能な水産物の消費の拡大

<事業の流れ>



〔お問い合わせ先〕 水産庁加工流通課（03-6744-2350）